

# 教育センター通信

北九州市立教育センター

TEL 641-1775

FAX 641-1833

http://www.kita9.ed.jp/educctr/

Eメール admin@educctr.kita9.ed.jp



## 自主講座のお知らせ

土曜講座の案内

「木曜ミニ教室」を以下の内容で開催します。多数のご参加をお待ちしています。

**9月9日(木) 19:00~20:00**

幼稚園教育、生活科

保幼小の連携を進めるために

講師：小田 順子 先生 (翰ヶ谷小学校)

幼児教育からの円滑な接続を図ることが求められています。小学校では生活科がその中心的な役割を担います。生活科における保幼小連携の進め方について具体的な事例を紹介します。

**9月16日(木) 19:00~20:00 (ICT活用ミニ講座は 19:00~20:30)**

指導技術シリーズ2

児童生徒の思考を広げる板書計画・発問

講師：児玉 奈穂美 先生

(折尾西小学校)

板書計画は一時間の授業の設計図ともなる大切なものです。板書と児童の思考を引き出す発問を連動させた授業づくりを紹介します。

ICT活用ミニ講座

パワーポイントを使った  
プレゼンテーションの基本操作と教材作成

講師：米永 博光

(教育センター所員)

パワーポイントの基本操作の演習を通して、授業で使える教材を作ります。「興味はあるけど難しそうで…」と思っていた方におすすめです。

**9月30日(木) 19:00~20:00**

派遣研修報告(国内編)

中央研修	土田 成夫 先生	中島小学校
教育公務員 長期派遣研修	村田 浩一 先生	高須中学校
特別支援研修 専門研修	鎮守 政明 先生	北九州 中央高等学園
県外派遣	福澤 映二 先生	西門司小学校

自己を磨くきっかけとして「派遣研修」に参加してみませんか。どのような「派遣研修」があるのか、報告会で紹介します。

家庭科、技術・家庭科

実践的な態度を育てる  
家庭科、技術・家庭科学習のポイント

講師：吉村 恵子 先生

(長尾小学校)

実生活との関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れ、生活を工夫する楽しさと物を作る喜びを実感させる授業づくりを紹介します。

**10月7日(木) 19:00~20:00**

小学校 理科

理科学習における  
実感を伴った理解を図る  
新単元・新内容の指導のポイント

講師：松山 修司 先生

(日明小学校)

6年生の学習に新たに「電流の性質とはたらき」が加わりました。この単元の指導のポイントを実験・演習を通して紹介します。

数学科

数学的な思考力・表現力を育て、  
学ぶ意欲を高める数学科の授業づくり

講師：濱小路 啓之 先生

(向洋中学校)

教材教具の活用法を工夫して生徒の学ぶ意欲を高め、思考力・表現力を育てる数学科の授業づくりについてお話をうかがいます。

「土曜講座」を以下の内容で開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

10月16日(土)

教育実践サポート室を開館しています。ご利用ください。

午前開催  
(9:30~11:30)

小学校 国語科

「書くこと」における言語活動の充実

講師：マイスター教員  
稲田 八穂 先生  
(朽網小学校)

説明文、手紙などの文種に応じ、「何をどのように表現するのか」を指導することで、確かな書く力を付ける具体例を紹介していただきます。

午後開催  
(14:00~16:00)

図画工作科、美術科

様々な版画の手法・技法2

講師：荒岡 恵美 先生  
(本城小学校)  
古賀 弘美  
(教育センター所員)

版画を指導する上での留意点や最終的な作品の仕上げ方などについて学ぶことができます。

健康教育

養護教諭実践力向上講座Ⅱ

講師：マイスター教員  
山口 典子 先生  
(小池特別支援学校)

学校保健安全計画の立案の仕方や実施に当たって留意することなどを具体的に学ぶことができます。

特別活動

学級活動総点検

年間計画ではこの日予定していましたが、  
11月13日(午後)に変更します。

\* 詳細は、次号でお知らせします。

今年度より実施している新たな内容の講座(6月19日実施分)を紹介します。

教育研究論文シリーズ1

研究の視点をもって日々の実践を行うために 講師 皿倉小学校 城 智子 先生(指導教諭)



教育研究論文を書くのは、子どもの成長のため、自分自身の成長のためであるということを中心にお話いただきました。また、仮説実証型論文を書くときの視点や手順、指導の構想等について学ぶことができました。さらに演習を通して、指導の具体的な手だてについて考えることができました。

【受講者の声】

論文の書き方や指導の構想等の仕方がよく分かりました。子どもの実態を把握し、どのような姿に導いていきたいのかを明確にすることが大切だということ学びました。

「研究は子どもの成長のためであり、自分自身の成長のためである。」という言葉が、とても印象に残りました。「わかる授業」を目指して研究していこうと思いました。

参加申込用紙は、教育センターホームページに掲載しています。プリントアウトし、必要事項をご記入の上、教育センター宛にFAXで送信してください。(FAX番号 641-1833)